

平成 24 年度

【第 1 回】

【上田市版市民参加・公開型行政評価】

# 「市民による事業評価」



平成 25 年 2 月 12 日(火)

上 田 市

## 【 次 第 】

平成 25 年 2 月 12 日(火)

- 1 開会 (午後 1 時 3 0 分：本庁舎 6 階大会議室)  
(司会 行政改革推進室長 中村 栄孝)
- 2 「市民による事業評価」の概要説明 (総務部長 山本 謙二)
- 3 人事通知書の交付 (市長 母袋 創一)
- 4 あいさつ (市長 母袋 創一)
- 5 懇談  
・市民評価委員と市長による懇談
- 6 チーム別の審議 (テーマごとの会場へ移動)
  - (1) 会場
    - ・テーマ①「高齢者施策」 (会場：本庁舎 5 階第 1・2 委員会室)
    - ・テーマ②「青少年の育成」 (会場：本庁舎 6 階大会議室)
    - ・テーマ③「地域リーダーの育成」 (会場：南庁舎 5 階第 3・4 会議室)
  - (2) 自己紹介 (市民評価委員、事業担当課職員、行政改革推進室職員)
  - (3) チームリーダー、副チームリーダーの選出  
・市民評価委員の互選により決定します。
  - (4) 事業概要の説明  
・事業担当課から、「テーマ」に関する上田市の全体像を説明します。
  - (5) 質疑応答
  - (6) 次回開催日の決定
- 7 閉会 (午後 4 時)

## 「市民による事業評価」

### 1 「市民による事業評価」とは

「市民による事業評価」は、市民の皆さんが、「この行政サービスがあって良かった」「上田で暮らして良かった」と思っただけけるよう、現在、市が行っている行政サービスの良い点・見直す点などの評価を行い、これからのサービスの目指すべき姿について、市民の皆さんと市がともに考える場とします。

### 2 事業の目的

- (1) これまで以上に効果的・効率的な行政サービスの提供を行うため、事務事業の評価を行います。
  - ・テーマに関係する具体的な事務事業(個別事業)の実績などから、良い点や見直す点などの評価を頂くものです。
- (2) テーマごとの方向性について御意見を頂きます。
  - ・「こうあって欲しい」と市民が望む行政サービスのあり方に対する御意見を頂くものです。
- (3) 「市民による事業評価」の市民評価委員と市職員の意見交換などの内容を広くお知らせし、行政サービスの課題や市の将来の姿を知っていただくことが、行政への参画意識の高まりに繋がることを期待しています。
- (4) 市民評価委員の皆さんが、今回の事業評価の中で意見交換した市の「目指すべき姿」に向かって、地域の課題解決に向けた取組を地域住民や関係者とともに実践して頂いたり、情報提供をして頂くことにより、「市民の参加と協働」がより一層進むことを期待しています。
- (5) テーマに関係する事務事業を対象とすることから、いわゆる「縦割り行政」の弊害が除かれ、「目指すべき姿に向けた統一感のある効果的な見直し」が期待できます。

### 3 市民評価委員の役割

- (1) テーマに関する事務事業について、市の事業担当課と質疑や意見交換を行うだけでなく、市民評価委員同士による意見交換も行っていただき、事務事業の良い点・見直すべき点などについて評価していただきます。
- (2) 総括として、審議の視点を踏まえた「これからの行政サービスの目指すべき姿」に対する御意見を頂きます。

### 4 審議する「テーマ」と「審議の視点」

急激な少子・高齢化の進行が、地域コミュニティや社会保障費に影響を与え始めていることから、次の3つのテーマを設定しました。

今後、これまで以上に市が直面する課題の大きな割合を占めると予想されています。

テーマ	審議の視点
①「高齢者施策」	「生涯を住み慣れた地域で暮らすためにはどうしたらいいのか」の視点から審議します。
②「青少年の育成」	「地域の大人が子どもにどのように関わっていくのか」の視点から審議します。
③「地域リーダーの育成」	「地域リーダーを育てる取組や活躍するきっかけをどのようにしたらいいのか」の視点から審議します。

- ・審議の視点は、市民の誰もが「こうあって欲しい」と望む地域の実現を目指すためのものです。
- ・「審議の視点」を設けることにより、市民評価委員同士や市の事業担当者との共通の方向性を持つことができることから意見交換や質疑応答などを行う際に、審議が深まると考えています。
- ・事務事業の評価を行う際にも、この「審議の視点」を踏まえることにより、広い視野からの評価が可能になると考えています。

## 5 テーマごとのチーム編成

3つのテーマごとのチームを編成することにより、審議が深まるものと考えています。

チーム	市民評価委員の構成
①「高齢者施策」	公募委員 8人 有識者委員 4人 計 12人
②「青少年の育成」	公募委員 7人 有識者委員 5人 計 12人
③「地域リーダーの育成」	公募委員 6人 有識者委員 5人 計 11人

(市民評価委員 合計 35人)

## 6 開催日程

- ・開催は、平日の昼間、2時間程度で開催します。
- ・第2回の開催からは、グループ別の日程で開催します。毎回、事務局から複数の開催候補日を提示させていただき、その中で、最も参加者が多い日程を決定します。よって、第2回の開催は、本日のグループ別の審議の後半で決定する予定です。
- ・2回目以降には、行政サービスの実態を知っていただくため、施設等の現地視察を予定しています。
- ・審議回数や期限を設けず、審議の結果がまとまるまで継続して開催します。

## 7 報酬

上田市特別職の職員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例第8条に基づき支給します。

## 8 市民評価委員 名簿

(敬称略・50音順)

テーマ① 「高齢者施策」	テーマ② 「青少年の育成」	テーマ③ 「地域リーダーの育成」
いのうえ たえこ 井上 妙子	いづか よしたか 飯塚 義隆	おおい さだお 大井 定雄
えんぞう はるゆき 圓増 治之	うんの ともつね 海野 友恒	すぎむら りえこ 杉村 理恵子
おおたに なおふみ 大谷 直史	こいけ まさひこ 小池 正彦	すずき ひさし 鈴木 永
かみお みちこ 神尾 みち子	こいわい れいこ 小岩井 礼子	せき みさこ 関 美佐子
しばさき たくま 柴崎 琢磨	さとう みつひろ 佐藤 満博	にしざわ むねお 西沢 宗夫
すぎざき ちよ 杉崎 千代	すぎざき ともこ 杉崎 友子	まるやま かずこ 丸山 かず子
なかやま あきお 中山 昭雄	せき かずひろ 関 和弘	みやのうえ たかし 宮之上 孝司
ほりうち よしたか 堀内 吉孝	たかはし ひとし 高橋 仁	むねた こういち 宗田 光一
みやじま こ 宮島 かつ子	たむら たもつ 田村 保	やじま やすお 矢島 康夫
やまうら けんたろう 山浦 健太郎	なかむら きょうこ 中村 京子	やなぎさわ ゆうこ 柳沢 裕子
やまだ ゆたか 山田 豊	やまうら まさつぐ 山浦 正嗣	やまだ ひでき 山田 英喜
やまのい えつお 山野井 悦雄	わたなべ つとむ 渡邊 務	

## 9 評価対象事業

### (1) 評価対象事業

- ・ 3つのテーマに関する事務事業を庁内で選考しました。
- ・ 次回から、テーマに関する事務事業の詳細な資料を提示します。

### (2) 評価対象外の事務事業

テーマの全体を御理解いただくため、評価対象外の事業も御紹介する予定です。

### 【評価対象事業】

テーマ①「高齢者施策」			
No.	事務事業名	H24 年度予算額	対象者
1	家庭介護者慰労金支給事業	141,400 千円	在宅で要介護3から要介護5までの方を介護する者 約 1,250 人
2	敬老祝金支給事業	15,950 千円	・ 88 歳 約 900 人 ・ 99 歳 約 60 人 ・ 100 歳以上 約 130 人 ・ 合計 約 1,090 人
3	上田市高齢者福祉センター	31,775 千円	利用資格：60 歳以上の者 (利用状況) ・ 上田 90,938 人 ・ 丸子 22,864 人 ・ 真田 9,060 人 ・ 武石 1,125 人
	丸子老人福祉センター	14,791 千円	
	真田老人福祉センター	8,399 千円	
	武石老人福祉センター(寿楽荘)	1,610 千円	
4	生きがい対応形デイサービス	8,556 千円	介護認定は受けていないが、外に出る機会が少なく家に閉じこもりがちな高齢者
5	在宅介護者リフレッシュ事業	1,387 千円	高齢者を介護している家族
6	徘徊高齢者家族支援事業	164 千円	介護認定を受けている高齢者で、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準のおおむねⅢ a 以上の判定を受けている方を介護している家族
7	高齢者介護保険利用料助成給付事業	20,160 千円	介護保険利用者のうち低所得者

【評価対象事業】

テーマ②「青少年の育成」			
No.	事務事業名	H24 年度予算額	対象者
1	青少年育成推進指導員制度	1,963 千円	地域住民
2	少年補導委員	7,112 千円	地域住民
3	地域青少年育成指導者養成講座	120 千円	地域住民
4	子ども会育成連絡協議会	4,452 千円	単位子ども会育成会
5	学校運営協議会を核とした地域による学校支援事業	329 千円	浦里小学校児童
6	学校を支援するボランティア	7 千円	特別な配慮が必要な小学校低学年の児童
7	地域による学校支援事業など	150 千円	地域住民
8	上田市スポーツ少年団活動補助	2,050 千円	小中学生 ※ 一部高校生も可



【評価対象事業】

テーマ③「地域リーダーの育成」			
No.	事務事業名	H24 年度予算額	対象者
1	地域づくりコーディネーター養成講座	559 千円	市民
2	わがまち魅力アップ応援事業	51,500 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会(自治会連合会含む)</li> <li>・5人以上の市民活動団体</li> </ul>
3	地域福祉推進リーダー養成講座	100 千円	自治会役員、民生児童委員、福祉推進委員、ボランティア団体、NPO、福祉事業者 等
4	農ある里山暮らしのすすめ講座	150 千円	市民
5	川西里山・水辺をつなぐ会	58 千円	川西地区の団体・個人